

足立区議会 自由民主党



討論者
新井 英員

経済の見通しは、回復基調が続くことが期待されているが、区政運営は未だ予断を許さない状況である。

今後も、特別区税、国民健康保険等の保険料、負担金・使用料等の徴収強化に加え、特定財源の確保等、さらなる歳入の確保を推進するとともに、事業の集中と選択、受益者負担の適正化、職員のコスト意識の徹底等引き続き取り組まなければならない。

エリアデザインの実現にあたっては、区民要望の高いホテルや病院の誘致等、議会地域住民の要望・意見を十分に取り入れ、区が主体的にまちづくりの総合的なビジョンを明確に打ち出していくよう要望する。

足立区議会 公明党



討論者
明 明

平成26年度一般会計は対前年度比22億円の減額となった。区は引き続き、事務事業の効率化や行政改革等によるコスト削減、未利用地の有効活用等とあわせ、自主財源の確保に取り組まなければならない。

子ども施策では、いじめの未然防止や早期発見、待機児童解消に向けた保育施設の整備・充実等に取り組まなければならない。

くらし施策では、生活保護の課題に対応するための福祉事務所の強化や、防犯対策に取り組み「安心して暮らせるまち、足立」の実現に努められたい。

高齢者施策では、特別養護老人ホーム等、整備の充実を図るとともに、住み慣れた地域で必要な支援を受けられる「地域包括ケアシステム」の構築等に取り組まなければならない。

加平小学校の移転と六町地区まちづくり、災害対策分野では、不燃化事業の促進、防災士の活用等の指摘・要望があった。

また、収納率向上対策、入札不調問題は是正等の指摘もあった。

今回の給食費に関する区教委の姿勢は、議会軽視と言わざるを得ない。教育行政を取り巻く環境は、教育委員会制度の改革や教科書採択、いじめ対策等、変革の中にあるが、今後、議会との信頼関係を損なうことのないよう、説明責任を果たすとともに、本委員会で約束した事項については、しっかりと取り組まれるよう強く要望する。

なお、共産党の修正案は、バラマキ的なものが多く、今後の長期的な区政運営を考えると、到底賛成できるものではない。

最後に、本委員会で我が党委員の指摘した事項及び提案、要望事項を尊重し、その実現に努力されるよう望むとともに、予算の執行でも、議会との信頼関係を損なうことのないよう強く求める。

防災・減災事業や災害に強い安全・安心なまちづくり、竹ノ塚駅付近鉄道高架化の推進、エリアデザインを進めるにあたっては、これまでの経験や教訓を踏まえ、各地域の可能性を最大限に引き出し、地元や関係者の思い、意見を充分に反映させたい。

経営改革施策では、課題を克服しながら、専門定型業務の一部を外部委託し、区民サービスの向上と経費削減に努められたい。

今後、区は、将来に向けて安定した財政運営ができるよう、創意工夫をされたい。給食の食材費や公費負担分は、区の財政状況を考えなければならないと思うが、区民生活の現状から見ると継続すべきである。最後に、我が党の委員が指摘した、子育て支援、防災・防犯対策、高齢者支援、障がい者支援、産業振興、環境対策、教育、交通、まちづくり対策、それぞれの地域課題等における提案、要望事項については、新年度予算の執行やこれからの区政運営に反映させるよう強く求める。

区分	会派名	足立区議会 自由民主党		足立区議会 公明党		日本共産党 足立区議団		足立区議会 民主党		足立区議会 みんなの党	
		原案	修正案	原案	修正案	原案	修正案	原案	修正案	原案	修正案
一般会計		賛成	反対	賛成	反対	反対	賛成	賛成	反対	賛成	反対
国民健康保険特別会計		賛成	反対	賛成	反対	反対	賛成	賛成	反対	賛成	反対
介護保険特別会計		賛成	反対	賛成	反対	反対	賛成	賛成	反対	賛成	反対
後期高齢者医療特別会計		賛成	-	賛成	-	反対	-	賛成	-	賛成	-
一般会計補正予算(第1号)		賛成	-	賛成	-	賛成	-	賛成	-	賛成	-

予算特別 委員会の 討論(要旨)

日本共産党 足立区議団



討論者
浅子 けい子

平成26年度は、年金は3年間で2.5%下げられ、賃金は19か月連続で減少中、消費税増税で消費の冷え込みや建設資材の高騰等が懸念される。新年度予算は、消費税増税で区は26億円増収になるのに、区民を思いやる姿勢は全くなく、増税に追い討ちをかける冷たい姿勢が現れている。

学校給食の補助金の削減を打ち出し、受益者負担を前面に施設使用料の値上げや駐車場を有料化し、放射能の学校給食等の測

定は最後の1区になってもやらない姿勢である。いじめ提言が提出されたにもかかわらず、先生の多忙化解消に逆行する施策を打ち出し、管理統制を一層強めている。

さらに、綾瀬駅前のごも家庭支援センター跡地利用では、区民の声を聞かずに企業に丸投げし、区役所本業業務の外部化では、大企業に丸投げすることによる個人情報漏えいの危険や、偽装請負・公権力行使の法令違反の疑いがぬぐえず、法務局が立ち入り調査に入ったことも明らかになった。

我が党は、学校統廃合、国保や介護の外部委託の中止等で財源を生み出し、23区最低クラス放射能対策の改善と原発ゼロ低

足立区議会 民主党



討論者
鈴木 あきら

今回の予算では、「治安」「学力」「困窮の連鎖」「健康」の4つのボトルネック的課題の解決に注力する等、共通認識を持っており、応援をしたい。また、長年ムダを指摘してきた大型ビジョンの廃止や使用料増収のために自動販売機の入札を拡充する等、前向きに取り組む努力が見られる。

しかしながら、平成24年度末の区全体の不納欠損額が34億7千万円余、収入未済額も154億6千万円余という金額を全職員が意

エネルギー社会への具体的提案等、60以上の新規・拡充事業の予算修正案を提案した。国民健康保険特別会計は、ついに平均保険料が10万円を超え、さらに広域化に向けて今後も値上げに拍車がかかることが浮き彫りになった。また、国保・介護の両会計には、新たな外部化の予算が盛り込まれており、到底認めることはできない。後期高齢者医療特別会計は、さらなる値上げが盛り込まれており、到底認められない。

区政に求められるのは、区民の暮らしに寄添い区民を支えることである。自治体の使命を発揮し、予算の使い方を区民本位に改めることを強く求める。

対応をすること等を申し上げた。さらに、中川・大谷田等、交通不便地域のコミュニティバスの未実現、都立中川公園の土づくりの里の覆いだけの恒久化は、特に地域の活性化だけではなく、地下鉄8号線整備促進にも大きく影響する。これらについてしっかりと取り組むよう強く求める。

修正案については、第二次避難所増設や発達障がい児への支援拡充等、一部は評価できるが、その他は全体としてバラマキとなってしまうので、賛成できない。

最後に、何が区民のためになるのかというのを、常に意識を持って行動することを求める。

後手に回ったいじめ問題は、早期発見に努め、二度と悲劇を繰り返さないという強い意志で取り組んでもらいたい。また、給食費のアップは、止むを得ないと結論づけるが、保護者の理解に努めていただきたい。さらに、防災に関して、区の調査でもやや意識が薄れてきている中、将来確実に起こる震災に備え、区民の命を守るため、我が党が提案した新築個宅型備蓄を早急に検討し、導入していただきたい。

足立区議会 みんなの党



討論者
浅古 みつひさ

平成26年度足立区一般会計予算は、不透明な将来を見据え、限られた予算をさらに必要項目に集中させたものである。様々な課題と時代の変化に対して、窓口業務の外部化等、全国で注目を集める施策を導入し、行政改革先進自治体として大いに評価できる内容と言える。

我が党が最も注目したのは、外部化の先にある可能性である。目指すところは窓口業務や現業職の完全委託化であり、行政は

政策決定機関に特化することである。外部化は少しずつ成熟していくと考えるので、急ぐ必要はないが、地方自治法上の行政責任をどう解釈して、外部化をどこまで進めるかという議論は、これからも続けなければならない。進む道の先をしっかり見据えることで、新時代の行政運営のモデルとなる区政運営を展開していただきたい。

教育においては、学力向上が、区の将来を語る上で至上命題と言える。新規事業の「中一夏季勉強合宿」など、足立区独自の教育体系の整備も充実し、「教科指導専門員による教員の指導」により、教員の教え方のアップにも着手した。その一方で、